

# らぶらすブックサロン

もっと著者や韓国フェミニズムの背景について知りたい

社会へのモヤモヤや不安を言葉にして、共有したい

差別的な発言をする人と対話しようと試みたが、疲れた...



## 課題図書

私たちにはことばが必要だ  
フェミニストは黙らない

Reclaim the Language How to deal with a sexist  
우리에게 언어가 필요하다 입이 트이는 페미니즘

イ・ミンギョン 著 すんみ・小山内園子 訳

ソウル・江南駅女性刺殺事件をきっかけに、女性たちが立ち上がった。今盛り上がる韓国フェミニズムムーブメント



あなたには、自分を守る義務がある。自分を守ることは、口をひらき、声を上げることからはじまる――

いまから学んでも遅くはない。  
一日でも早く、あなたと、新しいことばで、話がしたい。  
イ・ラン (ミュージシャン、映像作家)

2026年  
1月25日(日)  
14時～16時

らぶらすブックサロンは、本の感想を誰かと共有したい方や、ジェンダーの視点で本を読むことに関心のある方のための講座です。

今回は、講師に翻訳者のすんみさん、小山内園子さんをお迎えし、イ・ミンギョン著『私たちにはことばが必要だ フェミニストは黙らない』を取り上げます！



## 講師

すんみ さん



おさない そのこ  
小山内園子さん

翻訳家・ライター。早稲田大学大学院文学研究科修了。訳書にキム・グミ『あまりにも真昼の恋愛』（晶文社）、チョン・セラ『屋上で会いましょう』（亜紀書房）、共訳書にリュ・ジョンフン他『北朝鮮 おどろきの大転換』（河出書房新社）、イ・ミンギョン『私たちにはことばが必要だ フェミニストは黙らない』『失われた賃金を求めて』（タバブックス）、チョ・ナムジュ『彼女の名前は』（筑摩書房）などがある。

韓日翻訳者、社会福祉士。NHK報道局ディレクターを経て、延世大学校などで韓国語を学ぶ。訳書にク・ビョンモ『破果』『破碎』（岩波書店）、カン・ファギル『別の人』（エトセトラブックス）、『大丈夫な人』『大仏ホテルの幽霊』（白水社）、共訳書にイ・ミンギョン『私たちにはことばが必要だ』『失われた賃金を求めて』（タバブックス）、チョ・ナムジュ『私たちが記したもの』（筑摩書房）など、著書に『〈弱さ〉から読み解く韓国現代文学』（NHK 出版）がある。

## お申込み



**会場** 世田谷区立男女共同参画センターらぶらす

**対象** どなたでも（参加無料）



**定員** 10人（要予約・先着順）

**保育** あり（5か月～就学前、要予約・先着順）

**申込** 2025年12月15日（月）午前10時から、電話、FAX、またはらぶらすホームページの申込フォームで受付。※FAXの場合は①講座名 ②氏名 ③電話番号 ④保育の有無（保育を希望の場合は住所、子どもの名前・年齢）を明記。

お申し込みいただく住所・氏名・電話番号等の個人情報は、参加名簿の作成、キャンセル待ち登録名簿の作成、および必要な場合の連絡以外の目的に使用しません。

世田谷区立男女共同参画センターらぶらす

開館時間 9:00～22:00

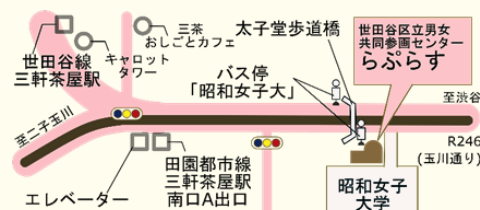
休館日 毎月第3月曜日（祝日の場合は、その翌日）及び年末年始

〒154-0004

世田谷区太子堂1-12-40 グレート王寿ビル3～5階

電話 03-6450-8510 FAX 03-6450-8511

らぶらすHP <https://laplace-setagaya.net/>



【電車】東急田園都市線・世田谷線「三軒茶屋」駅下車徒歩7分

【バス】東急バス・小田急バス「昭和女子大」下車

小田急バス（駒沢陸橋～北沢タウンホール）「三軒茶屋」下車  
※駐輪場のご利用を希望される方は、らぶらすまでお問合せください